

第5回サイエンス・コ・ラボ 実験レポート

秀光 年・特進 1 年

| | | | |
|----|----------------|------|--------------------------|
| 期日 | 平成26年度11月8日(土) | テーマ | 酵素で幹細胞を染色する |
| 場所 | 宮城野校舎 化学実験室 | 指導教官 | 東北大学院・環境科学研究科 准教授 珠玖 仁先生 |

1 実験記録 (機材、手順、実験内容など)

1. 細胞培養液を注意深く取り除き、PBS(溶液①)を1mL入れ、軽くなじませる。
 2. 液を取り除き、固定化液(溶液②)を0.5mL入れ、室温で2分間待つ。
 3. 液を取り除き、PBS(溶液①)を1mL入れ、軽くなじませる。
 4. 3の操作をもう1度行う。
 5. 染色溶液(A): 500 μ Lに染色溶液(B): 500 μ Lを加え、液を出し入れして混合する。
 6. ES細胞の区画とがん細胞の区間に、(A)と(B)の混合液を500 μ Lずつ加える。
 7. アルミホイルで包み遮光し、室温で30分反応させる。
 8. 液を取り除き、PBS(溶液①)を1mL入れ、軽くなじませる。
 9. 8の操作をもう1度行う。
 10. 顕微鏡で観察する。
- ※全ての操作において、液を抜いた状態で放置すると乾いてしまうので、乾かないように溶液をすぐ入れる。
※(A)と(B)の間は混ぜ合わせるとすぐに反応が進行するので、5から6の操作は迅速に行う。

2

① 実験から分かったことや疑問点

もう少し時間があればもっと染色できた
実験自体は成功
もっと簡単に実験を行うことはできないのか

② 興味深かった点

何度も同じ作業をしていた点
↳ 染色するには必要なのか
そしてらもっと回数を重ねたら色が濃くなるのか